

			2024年度		授業計画	
自動車整備科、一級自動車工学科、自動車整備・ボディリペア科、自動車整備・カスタマイズ科、国際自動車整備科						
時 期	2 年A巡	単元	実習	教科名	ジーゼルエンジン	
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品	三級自動車・ジーゼルエンジン		発行日	2024年2月9日
総時限	23時限（36時間）				教科担当	教科担当
1. 実務経験のある教員による授業科目 該当 非該当						
自動車整備士として、エンジン整備の実務経験がある教員によりエンジンの分解・組立・点検等について指導する。						
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
1. ジーゼルエンジン本体の分解組み立てをする。 2. ジーゼルエンジンの主要部品について理解する。 3. 燃焼室形状の構造を理解する。 4. ライナーの突き出し量の測定ができる。 5. バルブクリアランスの測定・調整ができる						
3. 授業の到達目標（この授業を学ぶことで学生は何を理解し何ができるようになるのか）						
1. エンジンを組立し、始動できるレベルまで仕上げる。 2. エンジン本体の主要部品を確認後、教科書で理解できる。 3. ジーゼルエンジンとガソリンエンジンとの違いが判る。 4. 燃料噴射の仕組み、作動が教科書とつながる。 5. 安全作業に心掛けた作業ができる。						
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）						
実技試験60点、筆記試験10点、行動評価15点、レポート評価15点の合計点で評価する。 一級自動車工学科は70点以上で合格とする。 自動車整備科は60点以上で合格とする。 自動車整備・ボディリペア科は60点以上で合格とする。 自動車整備・カスタマイズ科は60点以上で合格とする。 国際自動車整備科は60点以上で合格とする。						
5. 準備学習						

授業計画

[illegible]

■：対面授業

		2024年度		授業計画	
自動車整備科、一級自動車工学科、自動車整備・ボディリペア科、自動車整備・カスタマイズ科、国際自動車整備科					
時 期	2 年A巡	単 元	実 習	教科名	ジーゼルエンジン
7. 安全（KYのため必ず授業内で説明）					
番号	作業名	遵守事項		災害事例	チェック
	分解作業 バッテリーのマイナスを外す シリンダヘッド取り外し オイルストレーナを取り外す 組付け作業 ピストン組付け	整備作業を行う時は、バッテリーのマイナス（アース）ケーブルを必ず外す。 シリンダヘッドボルトを緩める時は、外から内に緩める。締め付けトルクが大きいのでメカニックグローブ着用とレンチは押さずに引いて緩める。 シリンダヘッドが大変重いので必ず3人で持つようにする。（腰を痛める可能性がある） めがねレンチ使用禁止（ブロック下面で手を切る可能性がある） ピストンリングコンプレッサー鋼部で手を切らないようレンチで緩める		ショートによる火花での火災予防 手を滑らせ手にシリンダヘッドを打ち付けて怪我をした。	
8. 授業レイアウト（写真の貼り付けも可）					
実習場			座学教室		